

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 1月 9日 更新

事務事業名		地域コミュニティ施設等再建支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康				所属部	教育委員会	課長名	栗木 清智	
	施策	15	防災対策の推進				所属課	生涯学習課	担当者名	境 真奈美	
	施策の柱	50	災害復旧対策				所属班	生涯学習班	(内線)	1505	
予算科目		会計一般	款 3	項 4	目 1	事業連番 11727	根拠法令	平成28年熊本地震における合志市地域コミュニティ施設等再建支			
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 28 ~ 6 年度) ☒ 期間限定複数年度			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】平成28年熊本地震により、被災した地域・集落における地域コミュニティの場として長年利用されてきた施設の再建を支援するもの。 ・対象施設：次の要件をすべて満たすもので、地域・集落のコミュニティを維持するために復旧が必要と市が認める施設 ① 合志市内に存在するもの ②専ら地域の住民が利用するもの ③専ら地域の住民が交代で維持管理しているもの ④ 祭りや行事などのコミュニティ活動に現に活用され、今後も活用を継続するもの。 ・対象事業：地震復旧に係る建替、修繕 ・補助率：1/2以内
【業務の流れ】	【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】自治会等へ調査業務、補助対象の有無の決定、申請団体へ補助金申請の案内、審査、補助金の支払い、熊本県への報告事務
【主な予算費目】	【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】負担金及び補助金
【意見や要望】	【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】歴史的建造物である施設については老朽化による被災のため、再建を希望する自治会が多く、慎重に審査する必要がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】・対象となる施設3件(上庄2件、中林1件)の確認、補助金申請受付、熊本県との協議を行った。 ・対象となる全ての施設の再建が完了した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】事業無し(R1年度で事業終了)	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア		【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】事業が終了したことによる減	
→ イ			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
地域・集落の被災施設		→ ア	
		→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
原形復旧を行う		→ ア	
		→ イ	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
1/2の補助金交付であるため、実際に地域で対応されるか課題が残る。			全体計画
			～ 6年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移										
		単位	実績(決算)	実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標		ア イ								
② 対象指標		ア イ								
③ 成果指標		ア イ								
投 入 費 用	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円							
		(A) 事業費計	千円			0	0	0		
		(A)のうち指定経費	千円			0	0	0		
	人 件 費	(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0		
		正規職員従事人数	人			0	0	0		
		延べ業務時間	時間			0	0	0		
	(B) 人件費計		千円			0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円			0	0	0			

事務事業名	地域コミュニティ施設等再建支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】令和元年度で事業が終了する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】令和元年度で事業が終了する。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】令和元年度で事業が終了する。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】令和元年度で事業が終了する。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】令和元年度で事業が終了する。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】令和元年度で事業が終了する。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】【前年度内容】令和元年度で事業が終了する。

3 評価結果の総括（CHECK）

--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☐事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策